

拝啓  
ブラック様

テイテルリツジ様

妖精を信じていない人が多いことは知っていますが、あたしは信じているし、ブラックさんとテイテルリツジさんも信じてくれると思っています。おふたりの本を読んで、弟たちと相談して手紙を書くことにしたのです。あたしたちは本物の妖精を知っています。妖精のことを、いっぱい知っているのです。いっしょに入っている紙は、あたしたちが屋根裏で見つけた古い本のコピーです。コピーの調子が悪くて、あまりきれいにとれません。この本は、妖精の見わけ方とか妖精から身を守る方法とかを教えてください。

どうか、この本を出版社の人にわたしてください。もしわたしてくれるなら、この封筒に返事を入れて、お店の人にわたしてください。本をとどける方

法を考えます。ふつうの郵便ではあぶないです。

このことを、みんなに知ってもらいたいのです。いつ、だれが、あたしたちと同じような目にあうかわからないからです。

敬具

マロリー、ジャレット、サイモン・グレース

\*危険なので、本書にはのせていません